

## まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

▷お問い合わせ 広報情報係  
(☎223局3569)



## ボールさん、お願い止まって!

6月1日 キッズスポーツフェスタ

町内の小学生がチームで参加するキッズスポーツフェスタが総合体育館で行われ、1年～6年生の112人が参加しました。跳んだり、走ったり体を動かすだけでなく、ねらって投げたり、蹴ったりといろいろなことに挑戦しました。参加した児童たちは「楽しい、楽しい」と口々に話していました。優勝チームはミニオンボーイズ(芦屋東小学校)でした。

## 人権同和教育推進のために

5月31日 人権・同和教育研修会

令和元年度に芦屋町に赴任した教職員や学校、行政関係者などを対象に人権・同和教育研修会を行い、45人が参加しました。研修会では、北九州教育事務所花村指導主事の講話「福岡県の人権教育の現状と課題」を聞いたり、映画「みんなで考える部落の歴史～つくられた身分制度～」を観覧したりして、差別の現状を改めて考え、被差別部落が為政者によってつくられたものであることを再認識しました。



## おいしいお米になーれ

6月10日 稲作体験学習

町内3小学校の5年生が参加する稲作体験学習が始まりました。まず、初夏の田植えからスタートです。田植えがすぐにできるように準備してくれたのは、JA北九青年部遠賀中間芦屋支会の皆さんです。もち米の苗を田んぼにきちんと植えつけられるように、ていねいに説明をしてくれました。児童たちはきれいな黄緑色の苗を3本ほど摘まんで、等間隔で田んぼに植えつけていきました。初めての田植え体験で、顔まで泥だらけになっている児童もいました。これから夏を越し、秋がやってくると稲刈りです。



## 半世紀にわたり消防団として町を守り続けた

6月5日 瑞宝双光章受章報告



元芦屋町消防団長の坂尾明美さん（山鹿）が、令和元年春の叙勲で、瑞宝双光章ずいほうそうこうしょうを受章されました。坂尾さんは、昭和42年5月に消防団に入団され、50年11カ月という長きにわたり消防団活動に従事。災害時の被害軽減や防災力の向上などに尽力をされた功績が認められ、今回の受章となりました。

## 996人で地球の大掃除。回収したごみは2910kg!

6月9日 ラブアースクリーンアップ2019

27年前に始まったラブアースクリーンアップは、地域の皆さんと企業、行政が協力し合って海岸や河川などに散乱するごみを回収する地域環境美化活動です。芦屋町では、自治区や子ども会などが柏原海岸や遠賀川河川敷に漂着したごみの一斉清掃を行いました。藤本清記さん（中ノ浜）は「水に溶けないプラスチックごみは深刻な問題。芦屋のきれいな海を保っていきたい」と話していました。



## 地域の交流に勝ち負けはなし

6月16日 町内ソフトバレーボール大会

総合体育館で町内ソフトバレーボール大会が行われ、13歳から80歳までの老若男女、24チーム140人が参加しました。チームは自治区ごとにメンバーを選出して構成されており、皆さんは強い結束力で試合に臨んでいました。毎年参加しているという林大介さん（浜口Aチーム）は「日頃は、バレーボールをしている4人の子どもたちの試合観戦が主ですが、この大会は家族6人一緒に試合に参加して楽しんでいます」と笑顔で話していました。

## 時代とともに生まれる新しい文化とのふれあい

6月15日 ふれあい文化講演

町民会館で行われたふれあい文化講演。これまでは楽器演奏や合唱を聞く機会が多かったけれど、タカシェンカさんが見せるジャグリングや倒立などアクロバティックなパフォーマンス、7つのチームが披露したそれぞれのよさこい踊り、どちらも新しい文化を感じられるステージでした。ステージだけでなく、客席と一体となって皆で盛り上がり、笑顔と元気いっぱい幕を閉じました。

